

KUNITACHI ONSHO



2018 SCHOOL GUIDE

国立音楽大学附属小学校



豊かな「知」と「心」を育む、





教育理念

豊かな知性・感性を
土台とする人間形成

教育目標

よく考え、進んで行動する子ども
思いやりのある、心の温かい子ども
元気に遊ぶ子ども

特別な6年間。



MESSAGE

眼差し

音小の子どもたちは、目がいつもキラキラと輝いているねとよく言われます。それは、何よりもご家族と先生方の暖かな眼差しによって見守られていることに加えて、沢山の楽しい行事と、自由な空気を受け止めているからだと考えています。

音小の持つ素晴らしい雰囲気は、個々の個性を尊重することから成り立っており、それが支えられているのは、お互いを思いやる優しい気持ちが醸成されているからだと思います。

音小の子どもたちが、今以上に成長できるように多くの眼差しで見守りたいと思っています。



校長 星野 安彦

「知」を育む

INTELLIGENCE

少人数制による恵まれた環境の中、
自ら考える力を育みます。

一人ひとりの考えや、答えを出すまでのプロセスを大事にします。子どもたちは、自分の考えを伝え、仲間の考えを理解することによって、より発展した考えを生み出す力をつけていきます。それは、将来どんな分野に進んでも通用する「学びの基礎」となるのです。

質の高い授業



個に応じたきめ細かい指導を行っています。各教科研究部では、教材研究力・授業力・児童理解力を柱に教員研修を積み重ね、より質の高い授業をめざし実践しています。

音小の学び ▶ P11へ

好奇心が扉を開く



「なんだろう。」「やってみたい。」の気持ちをたくさん引き出せるよう、出来るだけ本物を見て体験する機会を大切にしています。

音小の学び ▶ P11へ

「心」を育む

HEARTS

音楽や造形を通して感性を磨き、
集団生活の中で豊かな心を育みます。

特色ある授業の中での表現活動、行事を通じての自然体験や人と人とのつながりは、子どもたちの「心と体」を丸ごと育てます。

充実した行事



「行事に向けて育つ・行事
の中で育つ・行事を終えて
育つ」子どもたちの生き生
きた姿があふれます。

音小の宿泊行事 ▶ P13へ

創造的な造形活動



子どもたち一人ひとりが
自分なりの答えを見つける
プロセスの中に、直感やヒ
ラメキを含めた創造性を存
分に発揮できる瞬間がある
のです。



1・2年次の学び



低学年は、これから長期に亘って経験していく学校生活・集団生活の基本を身に付ける重要な期間として、基本的な生活習慣や友達同士の関わり、授業に取り組む態度、物事に意欲的に取り組む姿勢を、日々の学校生活や行事を通して身に付けていきます。明るく活気のある楽しい授業で、どの教科もしっかり集中できる学習の基礎を築くことを心がけています。



PICK UP
授業

造形の授業では、子どもたちが自由な発想を繰り広げ、生き生きと活動します。



造形



音楽



国語（音読）



遠足



水泳

TEACHER'S MESSAGE

低学年は、小学校生活の入口なので、生活面から丁寧に指導していきます。学習の中では、実際の物に触れたり、友達の考えを聞いたりすることも大切にしています。自分でできたこと、みんなと一緒にやり遂げたことなどを共に喜びながら、子どもたちの成長を支えていきます。

宮崎 裕美 先生



♪ 心のとびら ♪

DESCRIPTION OF THE IMPRESSIONS

学校のことをもっと知りたい。

今日、2年生は、新しく入学した1年生といっしょに、校内めぐりをしました。知らない1年生と手をつないで、お友だちになれました。わたしも、校内をいっしょにめぐって案内する中で、（学校にはいろんなものがあるな。教室もたくさんあるな。）とあらためて思いました。これから、もっと1年生のお友だちをふやしたいです。それから、学校のことももっと知りたいです。

1年生といっぱいなかよしになった。

わたしはおばけやしきのおどかし役で一つ目小ぞうをしました。わたしが出ると1年生はおどろいて進めなかったり、「キャー。」と言いながら小走りで出口に行ったりしました。ぜんぜんこわがらない子もいました。1年生は「おもしろい。」とか「びっくりした。」とか言ってくれました。わたしは、やったと思いました。1年生といっぱいなかよしくなって、とてもいい思い出になってよかったです。

（2年生の作文より）

3・4 年次の学び



学校生活を楽しく意欲的に取り組むために、声を掛け合い、みんなで話し合う機会を広げ、仲良く助け合う習慣を身に付けます。特に中学年から始まる理科・社会では、実験やグループ活動など、チームワークを培う内容を大切にしています。

生活では、お互いを認め合いながら、クラスの中で自治する力を養い、学習では積極的に粘り強く分かるまで取り組む工夫と、努力する力を育てます。



PICK UP
授業

見る・聞く・話す・読む・書く・考える・体験するなど、
ハンズオンを大切にして深い学びを追求します。



TEACHER'S MESSAGE

元気一杯の3年生は「見たい・知りたい・やってみたい」が沢山。
社会の授業では、学校を飛び出し国立市内を歩き、梨園・谷保天満宮・市役所見学や、矢川の生き物さがしなど、自分たちの五感をフルに使って学んでいます。運動会では民舞やリズムなわとびにも挑戦。何でもチャレンジの音小っ子です。

家城 直子 先生

♪ 心のとびら ♪

DESCRIPTION OF THE IMPRESSIONS

たくさんのゆめがつまった歌。

音楽会でわたしたち3年生は、部分二部合しようで歌います。はじめて歌った時はつられたり、歌詞がまざったりして大変でしたが、何度も練習をしてだんだん自分の歌う音程になれてきたら、きれいな一つの音になっていきました。『ゆめはともだち』は、たくさんのゆめがつまった歌です。パイロットになって世界中を回ったり、音楽家になって世界中に楽しい歌をおくったりします。元気な明るい歌なので、はきはきと歌っている所や、部分二部合しようにも注目していただきたいです。

カイコはふわふわでかわかった。

今日理科の授業で、カイコの観察をしました。最初は、「うーきもちわる〜い。」なんて思っていました。先生が5班のつくえにカイコをのせてくれました。でも、なんだかみんながさわっているのを見て、わたしも、(さわりたいっ。)そんな気持ちになりました。一回目はちょびっと、二回目はつんつん、三回目はつかめるようになりました。カイコはふわふわで、白だったり、黒だったり、かわいかったです。でも、エサがくさいのでそれだけはいやです。これから、かわいくて、くさいエサを食べるカイコちゃんが死なないようにがんばって育てます。

(3年生の作文より)



5・6年次の学び



高学年では、子どもたちの「考える力」をより伸ばしていきます。専門的に学習を深めていけるように専科制をとっている教科と、担任がクラスの子どもたちに合わせた授業展開を工夫できる担任制の教科を、バランス良く組み合わせ、子どもたちの興味・関心・学ぶ力を伸ばす教育を行っています。その力は、将来どんな分野に進んでも、学びの基礎となっていくものです。

また、児童会、奉仕部、クラブなどの活動や、各行事での役割を通して、自主的・積極的に考え、行動できる力をつけていきます。



PICK UP
授業

身体を使っの作業を通して、
昔ながらの米作りを体験し、
農業で働く人達の苦勞や願いを実感します。



社会(田植え)



器楽



音楽B



夏の学校



TEACHER'S MESSAGE

音小の子どもたちは、体育や英語や国語、算数など、教科や日々の生活の中で音楽に必要な運動感覚やコミュニケーション力、創造力が育っています。また、それは相互関係にあり、音楽で育った力が、体育でのリズム感覚、語学や造形の表現力、など他の教科の力につながってきます。音小の子どもたちにとって、音楽は特別なものではなく、総合的なものなのですね。

宮野 正幸 先生



運動会

♪ 心のとびら ♪

DESCRIPTION OF THE IMPRESSIONS

星の学校を終えて

初めて下級生と同じ部屋で過ごして、自分は本当に6年生として大丈夫なのだろうか不安でした。それに、班長だったからそれなりに責任も負わなければならないので、結構緊張していました。部屋が散らかっていた時に4年生に声をかけて、一緒に片付けたりしました。自由時間に4年生と一緒に遊んだことは、いい思い出に残っています。

あっという間に終わってしまった星の学校でした。今となっては、自分が4年生の時に、6年生にやってもらったこ

とは本当にこれだけだったのだろうかと考えています。前の6年生は、星の学校の後だって仲良くしてくれました。次にやるべきことはこれなのではないだろうか。今の4年生が6年生となり、(あの時は、あんなことしてもらったな〜)と思い出にふけて、(だから自分もやるんだ。)と思わせるような6年生になりたいです。僕の次の目標はこれです。

(6年生の作文より)

教科

学ぶ力をしっかりと養いながら、
豊かな感性を大切に育みます。

子どもたちが学ぶ意欲を持って授業に取り組み、基礎・基本を確実に身に付けることができる質の高い授業を行っています。

国語



国語では、読むこと、書くこと、話すことを中心にして、「言葉の力」をつけることを目標にし、全教科の基礎となる国語力を育てています。学校文集『おたまじゃくし』には、子どもたちの生き生きとした生活や学びを綴った文章が寄せられ、2016年3月で117号になりました。

社会



自分と社会のつながりについて考える子どもを育てることを目指し、各学年ともできるだけ多くの社会科見学を取り入れながら、本物に触れることに重点を置きます。教科書から発展した幅広い社会科“生きた社会科”を実践しています。

英語



1年生から歌やゲームを通して耳から覚える学習が始まり、英語を学ぶ楽しさを味わいながら学びます。

児童のその後の英語学習の土台となる「聞いて分かる力」の育成、英語独特の音の理解に音小では特に力を入れています。

算数



算数が好き、算数の学習が楽しい、そして、算数の力がある。そのような姿を目指し、数や図形などの感覚や考え方を学ぶ「概念形成の時間」、学んだことを日常生活などにいかす「発展学習の時間」を大切にしています。その中で、子どもたちの算数の力をつけていきます。

理科



知識をただ憶えるのではなく、実物を自分の目で確かめ、自らの手を使って活動することを重視しています。自然の事物や事象に対して、実験や観察で迫り、科学的に考える姿勢を養います。教科書の内容を押さえた上で、さらに様々な経験を積むことができるよう、理科見学など体験活動も実施しています。

生活



遊びや共同作業・見学・自然観察等の直接経験を豊富にしていく中で子どもたちが自ら気づき、問題を解決していこうとする意欲を養うことを目指しています。また、自立への基礎を養い、社会性を培うことも目標としています。

音楽 [1～3年] ・ 音楽 A [4～6年]



楽しく音楽に関わることで、子ども自身から興味・関心が生まれてくるように育てます。低学年ではみんなで歌い、音遊びやリズム遊びを通して、表現する楽しさを学びます。中高学年では、メロディ創りや楽器を使った表現を通して、音楽のおもしろさを学び、基本をさらに深め、音楽の仕組みや曲想についても学びます。

リトミック [1～3年] ・ 音楽 B [4～6年]



音楽の特徴を感じ取りながら、身体全体で表現し、音楽に対する感性や表現力を養うことを目指しています。リズム遊びや、コミュニケーションを伴った活動を通して学び、一人ひとりの発想を生かした創造的な表現活動を取り入れた音小独自の授業を展開しています。

コーラス [1～6年]



学年合同で週1回行い、季節や行事の歌、音小で長く歌い継がれてきた歌、心に残る歌などを歌います。低学年では基本を身に付け、みんなで歌う楽しさを体験し、中学年では音が重なる楽しさを体験します。高学年では、和音の響きや変化、曲想を感じながら表情豊かに歌います。

造形



答えは一つではないという視点に立ち、子どもたちが自分のところと向き合うプロセスを大切にしながら、逆ピラミッド型のように個性が広がっていく指導を心がけています。

体育



「心、技、体をバランスよく磨く」ーゴールデンエイジの子どもたちに寄り添ってー 基本的な運動技能の習得を目指し、個に応じた形で支援します。仲間と共に学び合い、心も育てます。

週教科・領域別時間数

	1年	2年	3年	4年	5年	6年
国語	8	9	7	7	6	6
算数	5	5	5	5	5	5
社会			2.5	3	3	3
理科			2.6	3	3	3
生活	3	3				
音楽	音楽	1	1	1		
	音楽A			1	1	1
	音楽				1	1
	コーラス	1	1	1	1	1
	リトミック	1	1	1		
	音楽B			1	1	1
造形	2	2	2	2	2	2
家庭科					1.6	1.6
体育	2	2	3	3	2.6	2.6
道德	1	1	1	1	1	1
英語	1	2	2	2	2	2
特別活動	クラブ				1	1
	奉仕				0.5	0.5
	学級会		1	1	0.5	0.5

器楽 [5～6年]



メロディー楽器、リズム楽器それぞれの特徴を理解し、協力し合いながら合奏することを通して、合わせる楽しさを学びます。基本的な奏法を身に付け、曲想に合った表現を考えて演奏したり、即興演奏や楽器の組み合わせを工夫したアンサンブルをしたり、幅広い活動を行います。

家庭科



衣・食・住の三つの柱を元に、自分たちの身近な教材から学ぶことを目的としています。エプロンを製作し、それを着用して調理実習をするなど、学んだものを生活に活かすことを大切にしています。

図書



読書は、生涯を通じて人間の内面に深くかかわる大切な営みです。専任の司書教諭が図書の授業を受け持ち、子どもたちの内面に寄り添いながら、感情や思考の成長を促します。





SCHOOL LIFE

年間行事

仲間との友情、学年をこえた絆。
様々な体験を通して成長する6年間。

子どもたちの自主性を伸ばす四季折々の行事。そこから得た経験は、きっと将来の大きな財産となります。



4

APRIL

- 始業式
- 入学式
- 身体測定・健康診断
(内科・視力)
- 児童総会
- 春の遠足

5

MAY

- 健康診断
(耳鼻科・歯科・
眼科・聴力)

6

JUNE

- プール開き
- 水泳指導開始

7

JULY

- 夏の学校(5年生)
- 一学期終業式
- 星の学校(4・6年生)

8

AUGUST

- 夏休み
- 二学期始業式

9

SEPTEMBER

- 森の学校
(2・3年生)
- 児童総会
- 運動会



音小の宿泊行事

学校では体験できない大自然に触れ、子どもたちは日常とは異なった体験ができます。また、集団生活の基礎や、仲間と協力して生活する姿勢を育みます。



夏の学校(5年生)

長野県の菅平高原に行き、2泊3日を過ごします。高原野菜を植えたり、ネイチャートレイルを歩いたり、高原の生活を体験し自然から多くの発見ができます。集団生活を共にして、心の交流を深めることができます。

星の学校(4・6年生)

山梨県の八ヶ岳少年自然の家で2泊3日を過ごします。ハイキングをしたり、広野で陣取り合戦をしたりします。学年の枠を超えた活動を通じて、仲間との連帯感や思いやりの気持ちが育まれます。



10
OCTOBER

- 山の学校 (6年生)
- 秋の遠足

11
NOVEMBER

- 開校記念日
- 音楽会
(国立音楽大学講堂
大ホール)

12
DECEMBER

- マラソン大会
- 音楽発表会 (課外)
- 造形作品展
- 二学期終業式

1
JANUARY

- 三学期始業式

2
FEBRUARY

- 冬の学校 (5年生)
- 音楽発表会 (課外)

3
MARCH

- クラブ作品展
- 児童総会
- 卒業生を送る会
- 卒業式
- 修了式

冬の学校 (5年生)

夏に行った菅平高原へ、冬にも訪れます。今度は、3泊4日でスキー学習をしたり、イグルーを作ったりします。雪国でしかできないような貴重な体験ができます。

森の学校 (2・3年生)

一つの部屋に、クラスの全員でお泊り！一部屋に二十数名で泊まることは、とても貴重な経験です。一泊二日、衣食住を共にすることで、仲間との絆がより一層深まっていきます。同じ目的に向かって取り組む姿勢は、学級の結束力も強化され、日々の学校生活に反映されます。



山の学校 (6年生)

音小生活最後の宿泊行事であり、卒業旅行にも相当するものです。山中湖畔で過ごす2泊3日の中で、山登りをしたり、キャンプファイヤーをしたりして友情を深め、集大成として、生涯の思い出となるまたとない行事です。





SCHOOL LIFE

施設紹介

共に学び、共に育つ。
心地よい“学び”と“交流”の場。

採光を工夫した明るい教室や、子どもたちの安全を守るための様々な設備など、子どもたちのことを第一に考えた施設です。



校舎

窓が広くてきれいな教室、低学年教室に隣接した中庭、各所に設けられたゆりのスペースなど子どもたちにとって豊かな学びの環境です。



みんなのラウンジ

昇降口横にある多目的ラウンジです。子どもたちのいこいの場であり児童と保護者の待ち合わせ等にも、活用されます。



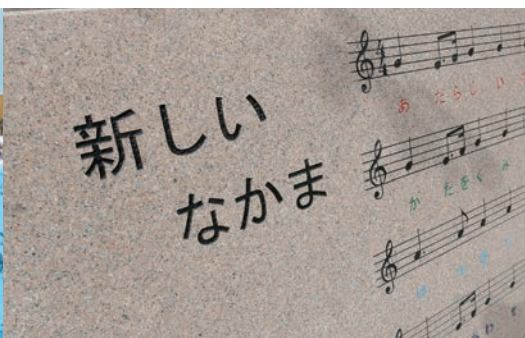
図書室

子どもたちの大好きな場所です。豊富で見やすく書籍が配置されており、畳を敷き詰めた「読み聞かせコーナー」ではリラックスして本に親しめます。



プール

屋上に設置され、温水シャワーが完備されています。子どもたちにとってより安心できる、安全な水泳学習が行えます。



新しいなかま

新校舎の完成に伴って設置された石碑には、20年近く前の音小の子どもたちと先生と一緒に作詞・作曲した「新しいなかま」が刻まれています。入学式ではこの歌で新1年生を迎えています。



リトミック室

子どもたちが楽しく身体を動かせる広々としたリトミック室です。音響効果に配慮しています。



体育館

冷暖房完備で、いつでも過ごしやすいため、思いっきり身体を動かす喜びを感じることができます。また教室とスムーズに行き来できる設計となっています。



カウンセリングルーム

誰もが安心して利用できる心の居場所です。専門のスクールカウンセラーが在室し、児童や保護者の方の心の悩みやストレスに寄り添い、支えてくれます。



Tコーナー

ミニ職員室です。休み時間に先生と打ち合わせをしたり、学級新聞を作成して、設置された印刷機で作業を行ったりできます。

お弁当

子ども達は、友達と食べるお弁当の時間を楽しみにしています。
平成28年度10月より、お弁当注文システムも導入され、ご家庭の都合に合わせて、お弁当を注文することも出来るようになりました。



奉仕活動

5・6年生になると、全校児童のために、また、学校生活が円滑に過ごせるように活動し、奉仕の心を養う奉仕部活動を行います。

- ・児童委員会
- ・放送部
- ・体育部
- ・保健部
- ・図書部
- ・飼育環境部



クラブ活動

自分が興味を持ったクラブに所属し、友達と協力し合ったり競い合ったりしながら、自らの力を伸ばしていきます。

- ・理科
- ・美術
- ・家庭科
- ・書道
- ・リコーダー
- ・卓球
- ・バドミントン
- ・サッカー
- ・バスケットボール
- ・新体操(&チアダンス)



課外レッスン室

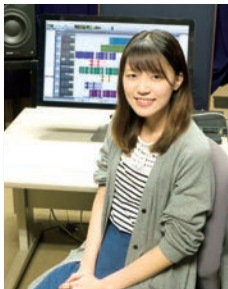
校舎の3階に11室のレッスン室があり、希望者は、放課後の時間を使って課外レッスンを受けることが出来ます。楽器は、ピアノ、ヴァイオリン、フルート、クラリネットです。3年生以上は、年1回、校内での発表会に出演します。





卒業生からのメッセージ

MESSAGE FROM
GRADUATES



川杉 理菜 (第53期卒業生)

空間演出ディレクター、サウンドプログラマー
株式会社チームラボ勤務

プロフィール 国立音楽大学附属小・中・高と進み、国立音楽大学音楽学部 音楽文化デザイン学科コンピュータ音楽専修卒業。作曲及びコンピュータ音楽を業孝之、今井慎太郎の各氏に師事。現在、デジタルアートや立体音響などの研究を行っている。

国立音楽大学にて中学校・高等学校の教員免許を、更に同大学と明星大学との提携制度によって小学校の教員免許を取得しました。小学校の教員免許状を取得したいと考え始めたきっかけは、音小のサッカークラブの合宿です。合宿は先生方や卒業生と交流を深めることができる機会であり、卒業後も毎年仲間と訪れています。そういった過程の中で、子ども達と関わる仕事がしたいと思いはじめました。また、実際に音小へ教育実習に行かせていただいた時には、明るく元気でもとても素直な音小生の皆さんに沢山の元気をもらい、その思いがより一層強くなりました。現在では、子ども達と関わった経験を生かしながら、子どもの向けのデジタルアートを制作する仕事に携わっています。

卒業してから10年近くの月日がたった頃、学校歯科健診の手伝いで音小を訪れる機会を頂きました。当時はまだ昔の校舎のままで、サッカーなどをして遊んだ校庭を見て、懐かしさに浸りながら保健室へと足を向けました。なにより嬉しかったのは懐かしい先生方が多数ご在籍されており、私のことを覚えていて下さったことです。3〜4年生の時の担任の先生、保健室の先生、昔のクラブ活動の先生方に会えた喜びは今後も忘れることはできない大切な思い出になっています。先生方と気兼ね無く話すことのできる音小を卒業した事を心から誇らしく思います。今は、音楽とは離れた道を歩んでおりますが、音小で学んだ、人を思いやる気持ちは医療の分野だけでなく、今の私を作っていると思います。これから音小に毎年通うことのできる梅雨の時期が楽しみです。

池田 泰輔 (第43期卒業生)

大和田池田歯科医院 勤務
国立音楽大学附属小学校 学校歯科医
プロフィール

国立音楽大学附属小学校卒業
聖徳学園中学高等学校卒業
昭和大学歯学部歯学科卒業
HARVARD大学 Esthetics and Implant Perio Course 修了
Pennsylvania大学
Esthetics Implant And Endodontics Course 修了



はしかぜ
星風 まどか ©宝塚歌劇団
宝塚歌劇団 宙組

プロフィール 2014年3月宝塚歌劇団に入団し、『宝塚をどり』で初舞台。2015年2月、宙組に配属。6月『王家に捧ぐ歌』新人公演でヒロインのアイダ役を好演。10月、宝塚バウホール公演『相続人の肖像』ではヒロインのイザベル役を務める。

合言葉は「明るく元気、何かで一つ。」

音小は子供の個性を何よりも大切にしてくれました。その中から、自然に生まれるコーラス、リトミックへの皆の集中力が、私は大好きでした。宝塚歌劇団での鍛錬は、決して優しいものではありませんが、ある時は同期と励ましあい、ある時は先輩方の呼吸を感じつつ、目標を追求する基礎を、実は私は音小時代に授かっていたのです。音小時代に経験し学んだことを大切に、これからも芸道の道を精進し歩んで参ります。

優れた音楽家とは。この永遠の課題に今の僕が出せる答えは表現者であること、コミュニケーション能力があること、です。僕の職業であるオーケストラや弦楽四重奏というものはまさしくその能力が試されます。

音楽とは人種、言語、国境を越えたコミュニケーションツールであり、僕たちは表現をもって仲間や聴衆に訴えかけます。

音小では自身で感じ考え、友人たちとディスカッションする中でこの能力が自然と身に付き個々の感性や可能性を最大限引き出してくれました。

横溝 耕一 (第45期卒業生)

NHK交響楽団ヴァイオリン奏者
ウェルズ弦楽四重奏団ヴィオラ奏者

プロフィール 桐朋学園大学卒業。第57回ミュンヘン国際音楽コンクール弦楽四重奏部門第3位ほか受賞歴多数。国内外の音楽祭にも多数出演。小澤征爾音楽塾ではコンサートマスターを、別府アルゲリッチ音楽祭ではソリストを務める。



本多 ひろみ (第45期卒業生)

NHK記者

プロフィール
国立音楽大学附属小学校・附属中学校・附属高校音楽科卒業
早稲田大学政治経済学部卒業

音小時代は、私が劇的な「変化」を遂げた時代。日々の気づきをみんなの前で話す3分間スピーチに、友達や保護者の前で練習の成果を披露する音楽発表会。恥ずかしがり屋で引込み思案だった私にとって自分を表現する機会が多い音小は訓練の場でした。音楽やリトミックの時間がなければいいのに・・・いつも思っていました。こんな私を変えてくださったのが、音小の先生方。自分の数少ない良さをひたすら褒めてくれ、そのおかげで自分に自信が持てるようになっていき、あれだけ嫌だった音楽やリトミックの授業を「楽しい!」と思えるまでになりました。その瞬間からはまるで別人。母親も驚くほど、人の前に出ることや自分を表現することが大好きになっていきました。音小時代は、今の私の土台を作ってくれたかけがえのない時代です。



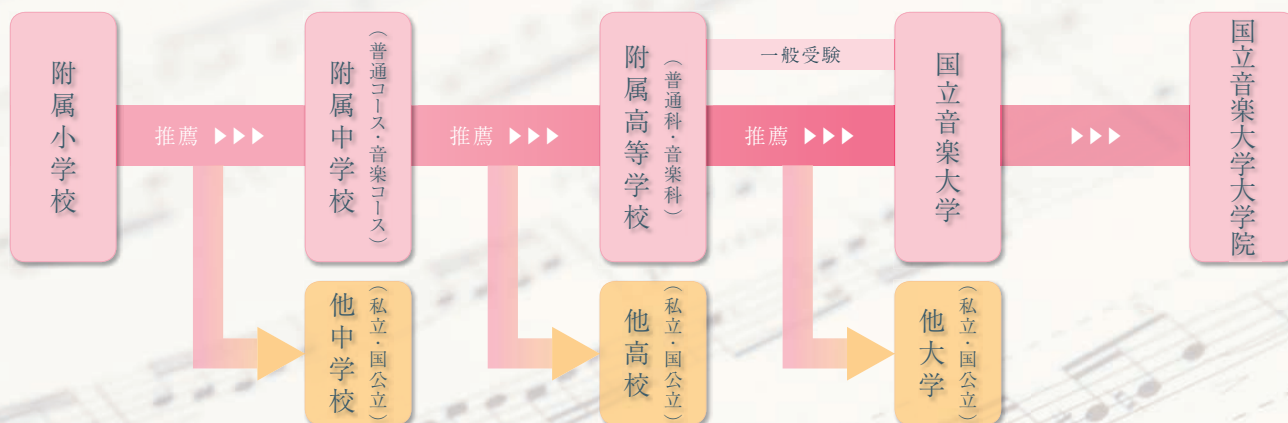
卒業後の進路

COURSE AFTER
GRADUATION

音小の子どもたちの進路は、多方面にわたります。幼児、児童、生徒、学生と成長していく中で、その時夢中になっていること、これから学びたいこと、将来目指したいことは、広がったり、絞られたり、変化したりしていくものです。

本学園では、一貫教育の中で、個の成長段階に応じて、節目節目で自ら進路を考え、自ら選択していく姿勢を大切にしています。音楽の分野だけでなく、幅広い視野で自分を見つめ、世の中を見つめ、多方面で活躍できる人材を育てます。

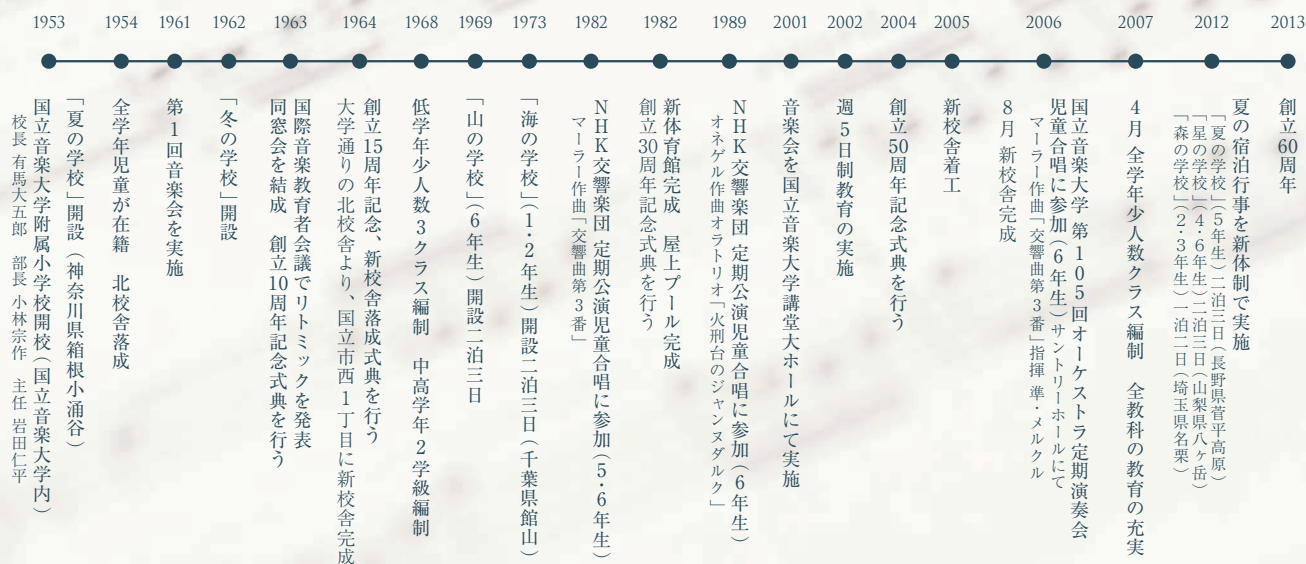
たくさんの可能性を秘めた子どもたちが夢を語る顔、そしていろいろな学校で学び、様々な職業・分野で活躍する卒業生の声が、音小の教育をますます活気づけてくれています。



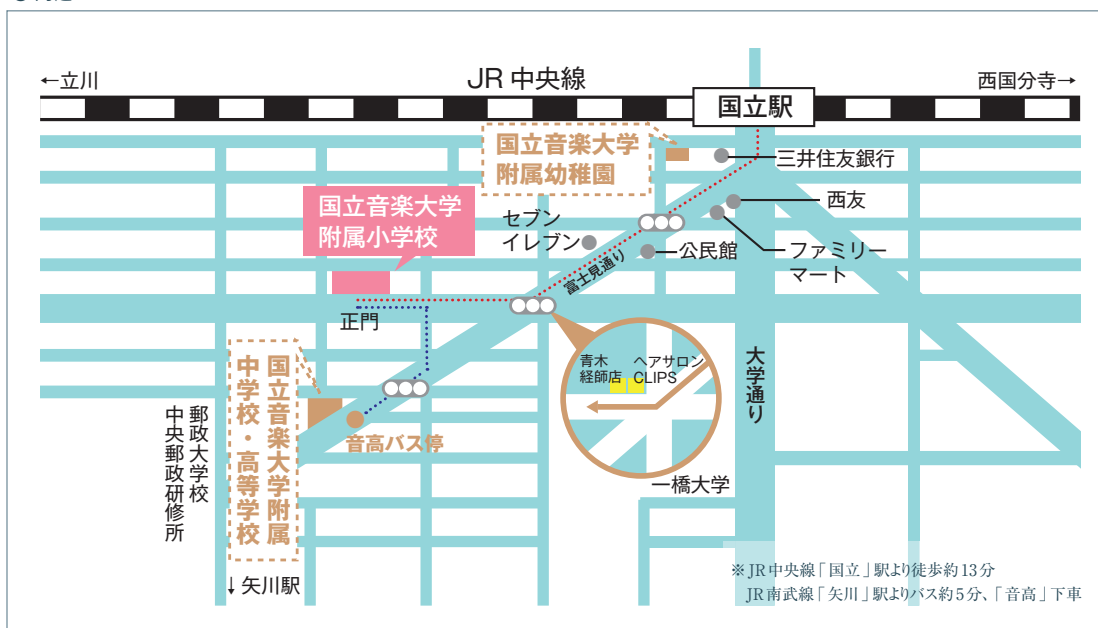
【他中学への進路】

浦和明の星女子、穎明館、大妻多摩、開成、学習院女子、吉祥女子、慶應義塾中等部、恵泉女学園、光塩女子学院、見華学園、國學院大學久我山、渋谷教育学園渋谷、女子学院、女子美術大学付属、成蹊、創価、玉川学園、帝京大学、東京純心女子、東京電機大学、桐朋、桐朋女子、法政大学、武蔵、武蔵野東、明治学院、明治大学附属中野八王子、明治大学附属明治、明法、山脇学園、東京学芸大学附属小金井、東京大学教育学部附属中等教育…他
進学状況の詳細は、本校ホームページ <http://www.onsho.ed.jp/> をご覧ください。

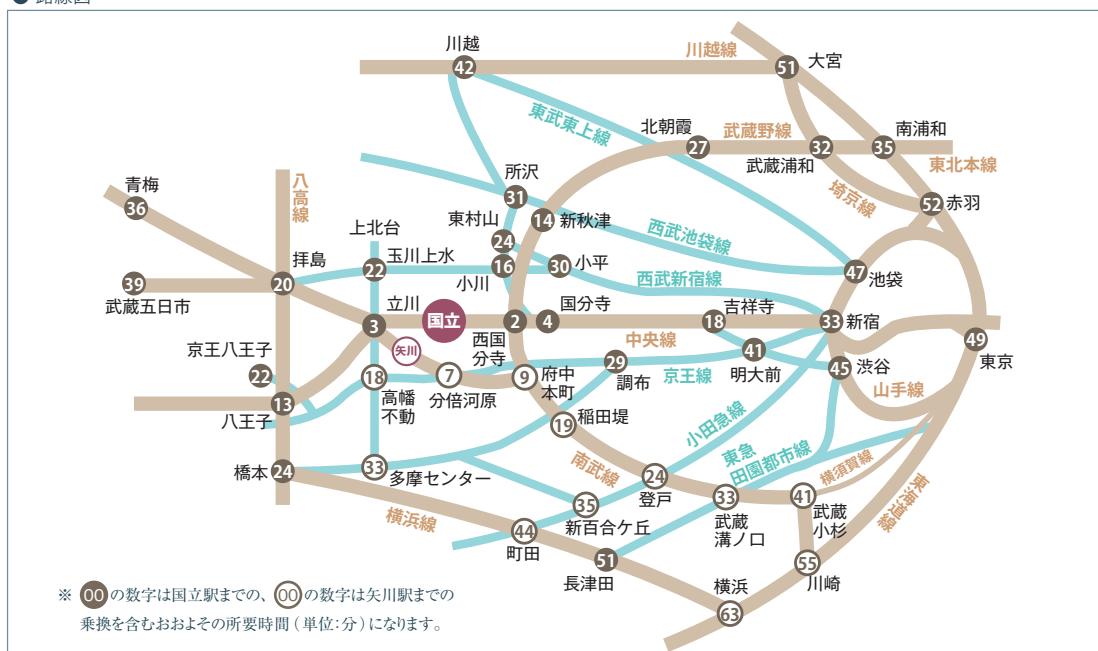
沿革



● 周辺 MAP



● 路線図



学校法人国立音楽大学



国立音楽大学・大学院

〔学部〕音楽学部〔別科〕調律専修
〔大学院〕音楽研究科(修士課程、博士後期課程)
〒190-8520 東京都立川市柏町5-5-1
Tel. 042-536-0321 (大代表)



国立音楽大学附属中学校

音楽コース・普通コース
国立音楽大学附属高等学校 音楽科・普通科
〒186-0005 東京都国立市西2-12-19
Tel. 042-572-4111



国立音楽大学附属幼稚園

〒186-0004 東京都国立市中1-8-25
Tel. 042-572-3533



国立音楽大学附属小学校

〒186-0005 東京都国立市西1-15-12 Tel. 042-572-3531 / Fax. 042-576-5730

<http://www.onsho.ed.jp/>

説明会、公開行事等の詳しい情報はこちらから

音小

検索

